



Speech & Debate



一般社団法人 National Forensic League Japan

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-23-18 渋谷ワールドイーストビル4階  
Mail: info@nflj.org TEL: 03-6427-1681 FAX: 03-3406-2256

<http://nflj.org>

NFLJ デイベート

一般社団法人 National Forensic League Japan





## 君は、世界で活躍している自分を 想像できるだろうか？

世界には驚くほど斬新な発想で、世界中の仲間と連携をとりながら、  
人間社会の様々な課題を解決するべく行動している人がたくさんいる。  
そんな世界で発信されている情報は簡単に手に入る時代になったけど  
自分の言葉はどこまで届けられるだろう。  
地域や国境を超えたステージで自分をきちんと表現し、  
コミュニケーションできる人になること。  
すべてはそこから始まるのかもしれない。





# Leading to the future

## スピーチやディベートで鍛え抜いた力は、 将来の夢に近づく糧となる。

スピーチでは、大勢の目の前で、しっかりと自分の考えを発信する力を養うことができます。その素養をベースにディベートでは、他者と協働する上で必要なコミュニケーション能力が磨かれます。具体的には、賛成サイドと反対サイドの双方を入れ替えながら考える習慣付けをすることで、とりわけ日本人が苦手とされる意見と個人を区別した物の考え方を、身につけることができます。同時に英語運用能力を高めることができる英語スピーチ・ディベートは、グローバルに活躍するための基礎力獲得に最適なアプローチです。

### Our Mission

## グローバルな舞台で競い合うことを通じて、日本の若者が世界に羽ばたくチャンス。 それが私たちNFLJのミッションです。

忘れもしません、当時私が動いていた外資系金融機関のGlobal戦略を決める会議に初めて出席したときの事です。日本人チームの準備はパーフェクト。これ以上は考えられないほど考え、Global戦略として採用される自信にあふれ、意気揚々と会議に臨みました。しかし、いざ会議が始まると、日本人チームの提案は全く聞き入れてもらえません。そして、会議後、他国のメンバーたちが決めた方針に対し、日本人の上司たちが愚痴をこぼすのです。

「外国人は全く分かってない！  
こっちの方がいいに決まってるじゃないか。」  
「だいたい、無駄な話ばかりして!!」

しかし、いくら非難してみても、世界戦略に取り入れてもらえないという事実は変わりません。私はなぜ日本人チームがこのような結果になってしまったのか、を深く考えるようになりました。考えてみると、このような事例は枚挙に暇がないようです。柔道のルールは、日本発のスポーツであるにもかかわらず、世界でなかなか日本の主張は通らなくなっています。国際金融のルール作りにしても、邦銀の主張は世界で取り入れられることは稀です。これらの事例に共通して底流する何かがあるのではないかと。

私はそれを見つけるべく、海外のグローバルなコミュニケーション能力を備えた人物を具さに観察することにしました。すると彼らは、「自分たちの答えが絶対」だとは思っておらず、テーゼとアンチテーゼを、議論を通じてより次元の高いテーゼに昇華させることを共通のルールとしていることに気がつきました。自分たちの答えを絶対

視していない彼らは、議論が行き詰まった時に、米国人であれば日常会話などを、英国人であればその議題に関係する自分のストーリーなどをよく話すのです。そうした一見関係のなさそうな話をするなかで、「言葉のひっかけ」を探っていたのです。

そうした「言葉のひっかけ」を突破口に一気に結論への道が開けることが、グローバルな舞台での議論では、事実、よくあります。これが、日本人の上司たちの愚痴に現れた「無駄な話」の正体だったのです。

私は、日本人のこうした姿勢には2つの問題点があることに気がつきました。ひとつは「答えが1つである」と思い込んでいること、もうひとつは、「英語運用能力が不十分であること」です。日本の教育現場では、極めて同質性の高いクラスの中で、「答えが1つであること」を前提に授業がなされているように思えます。また、英語の運用能力を高めることが十分にできているかという、疑問符がつきます。

グローバルに通用する「議論のルール」と「英語運用能力」の双方を同時に磨くのに、「英語ディベート」より良い方法はありません。観衆の前での振る舞い方や自信を養うスピーチと併せて、英語ディベートを世界の若者と競い合う舞台を日本の若者に与え、世界に羽ばたくチャンスを広げること。それが私たちNFLJのミッションです。

NFLJ代表理事 福原正大





# Global net work

## 米国最大、 世界に広がるスピーチ・ディベート大会 ついに日本上陸。

米国で始まり、90年の歴史と100万人の会員を抱えるNFLは近年、中国や韓国でも独自の運営組織が立ち上がり、そのグローバルネットワークはアジアを中心に急速に拡大しています。特に中国では、中国本土9都市で地区予選が開催され、毎年合計2,000人を超える高校生が参加するほど活況を呈しています。



What's NFL?



米国NFLの様子



NFL CHINAの様子



NFL KOREAの様子

## 90年の歴史と100万人の会員を抱える 米国最大の青少年スピーチ・ディベート大会

NFL (The National Forensic League) は、Training Youth for Leadership (明日のリーダー育成) を理念に掲げ、米国で1925年に設立された青少年のスピーチ、ディベート競技会運営団体です (2014年「The National Speech & Debate Association」に改称)。100万人超の生徒、教師、卒業生からなるネットワークを誇り、これまで最高裁長官や政財界、ジャーナリズム、映画界などにも多くの人材を輩出しています。NFLの競技会でおさめた成績は、多くの米国の大学で入学審査の評価事項としても認められています。



# 日本版NFLのスピーチ・ディベート大会 「NFLJ」が2015年よりスタート。

NFLJは、米国最大の青少年スピーチ・ディベート大会「NFL」の日本版の大会を運営する組織です。米国や中国、韓国のNFLと提携しており、アジア各国の高校生のNFLJの大会への参加を呼びかけるほか、全国大会で勝ち進めば本場米国で世界のエリートと対戦することができます。

## 大会の流れ



## 参加のメリット



多くの米国の大学がNFLで獲得したポイントを入学審査の評価事項としています。



NFLJの各種競技会に参加すると、その成績に応じて参加者にポイントが付与され、個人の実績として蓄積されます。既に実績のある米国NFLの「グローバルポイント」としてもカウントされますので、日本からの海外大学進学におけるアピール材料とすることが可能です。これに加え、NFLJでは現在、国際教養系の大学をはじめ、国内大学のAO入試等でのポイントの評価・活用を働きかけています。(ポイント制の詳細についてはWEBサイトでご確認ください。http://nflj.org/about/point/)

## 種目と概要

### ディベート

Public Forum

NFLJが採用するPublic Forumは、トピックに応じて賛否双方について事前準備をして臨む2名1組のチーム対抗型ディベートです。コイントスを行い、賛成サイド・反対サイド、先攻・後攻を決定して始まります。

- Constructive speech: チームのベースとなる意見・理由を述べます。
- Crossfire: お互いに質問を投げかけ合います。
- Rebuttal speech: 相手チームの意見に反論します。
- Summary: これまでの議論をまとめます。
- Grand Crossfire: 全4人で質問を投げかけ合います。
- Final Focus: なぜ自分たちが勝つべきか最後のアピールをします。
- Prep Time: 戦略を練る時間です。いつでも使用することができます。

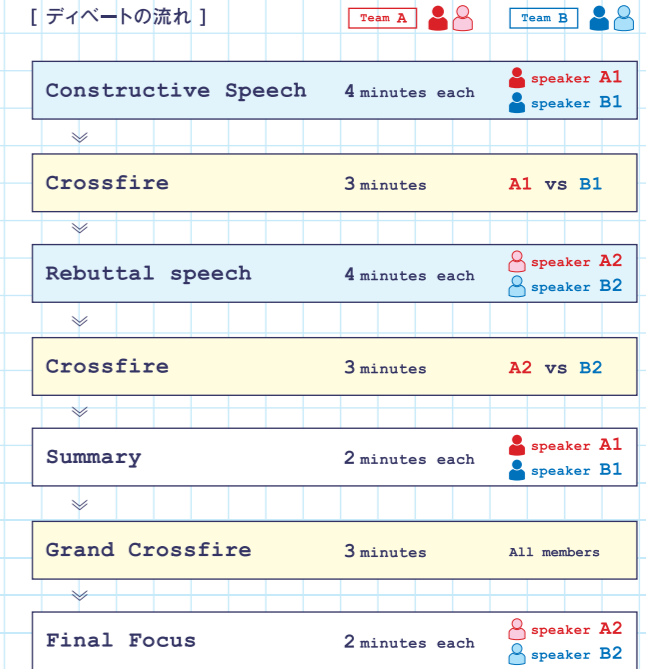
### スピーチ

Original Oratory

NFLJが採用するOriginal Oratoryは、10分間のフリースピーチとなります。実際に出場者の手で作成された原稿に基づく、暗唱形式です。いかなるテーマでも構いませんが、スピーチ内容は真実でなければなりません。

詳細についてはWEBサイトでご確認ください。  
スピーチ <http://nflj.org/competition/speech/>  
ディベート <http://nflj.org/competition/debate/>

[ ディベートの流れ ]



Prep Time: 2 minutes per team

## 理事メンバー紹介



代表理事  
高野 憲治  
Kenji Takano

東京外国語大学英米語学科卒。1970年にNECに入社。中南米、北米、欧州の事業に携わり、2006年にNEC EuropeのChairman & CEOに就任。2008年、立命館アジア太平洋大学教育開発・学修支援センター教授となり、就職部長や社会連携担当部長などを務めた後、2013年から同客員教授。



代表理事  
福原 正大  
Masahiro Fukuhara

慶應義塾大学経済学部卒業。INSEADにてMBA。グランゼコールHECにて国際金融修士(with Honors)。筑波大学大学院企業科学博士課程修了(経営学博士)。東京銀行を経て、パークレイズ・グローバル・インベスターズに入社。最年少Managing Director、取締役を経て、2010年にグローバルリーダーを育成するInstitution for a Global Society株式会社を設立。



理事  
深沢 岳久  
Takahisa Fukazawa

慶應義塾大学法学部法律学科で学士号を取得後、司法試験に合格。弁護士として企業法務から一般民事事件まで様々な法律問題に取り組んでいる。東京大学大学院法学政治学研究科にて修士号取得。



理事  
小川 亘  
Wataru Ogawa

近畿日本ツーリスト(株) 代表取締役社長





世界に羽ばたく人材の育成を!

政策研究大学院大学  
客員教授・医学博士  
**黒川 清氏 Kiyoshi Kurokawa**

世界標準のコミュニケーション力を持つには、会話や発音よりも、しっかりとした考えをもとに発言していくことが大切である。その意味で、早期に英語スピーチ力をつけるのは望ましい。また、世界では、新しい価値を創造するためのディベートをしていく必要があるが、日本人の場合、意見と個人を区別しにくい場合の多いことが問題になってしまう。その解消に向け、青少年の頃から英語ディベートを学ぶことは有効であろう。自分の意見だけでなく、賛成と反対の双方を考え、立場を変える訓練をするのがディベートだからだ。NFLJには大きな期待をしている。ぜひ日本中に広げ、世界で活躍できる日本人を増やしてほしい。

[ブログ] <http://kiyoshikurokawa.com>



グローバル時代の課外活動に

品川女子学院 校長  
教育再生実行会議委員  
**漆 紫穂子氏 Shihoko Urushi**

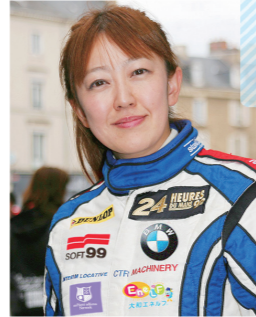
私が校長を務める品川女子学院では、女性の人生のターニングポイント、28歳の未来から逆算する「28プロジェクト」を教育の柱にしています。生徒が28歳になるとき、社会はどのように変化しているでしょうか。ITの発達で世界はどんどん小さくなり、環境問題は国境を越えて進んでいきます。そんな未来にどんな志を実現するにも、他者と協働するコミュニケーション能力、共感力は欠かせません。そして、その発信手段としての英語力は「未来を支える基礎スキル」と言えるでしょう。NFLJの大会へのチャレンジは、国をこえて世界のスピーカー・ディベーターと対戦することができるまさにグローバル時代にふさわしい、課外活動と言えます。今後の発展を大いに期待しています。



世界を広げるきっかけに!

ライフネット生命保険株式会社  
代表取締役社長  
**岩瀬 大輔氏 Daisuke Iwase**

ダボス会議などの国際会議で感じることは「日本で通用する議論をすれば世界に通用する」ということです。しかし、それをきちんと英語で表現できる方が日本にはまだまだ少ない。それが日本の弱みであり、日本を発信できる人が増えてほしいと願っています。ただ同時に、個人のレベルでは、全員が全員、英語を身につけておく必要はないとも考えています。それでもあえて声を大にしたいのは、英語を身につけておくことで人生が確実に楽しくなるということです。ぜひNFLJの大会にチャレンジし、世界の友人とつながるきっかけを得てみてください。きっと世界が広がるはずですよ。



英語を“体得”するチャンス!!

国際レーサー  
**井原 慶子氏 Keiko Ihara**

私が必死に英語を学んだのは、チームメンバーとのコミュニケーションミスが命の危険に直結するからでした。修理を担うエンジニアに疎まれながらも、彼らとの会話の中で“体得”した英語でのコミュニケーション能力は以来、私のレース人生を支え続けてきています。ディベートでは相手の主張を正確に聞き取らなければ、反論をすることができません。その意味で、レースと同じ、“一瞬”の勝負の連続といえます。日本の多くの青少年がNFLJの大会を志し、英語でのコミュニケーションを“体得”され、グローバルに活躍するきっかけを得られることを祈念しております。

### 特別協賛



### 協賛



### 企業の皆様へ

協賛のお願い



NFLJでは、そのグローバルネットワークのもと、中国や韓国、米国などの青少年とのスピーチ・ディベート対戦を通じて、日本の青少年が早期からグローバルなコミュニケーションを磨くことのできる機会を提供し、よりよいグローバルソサエティ

を作り上げていってもらうことを目指しています。こうした青少年たちは必ず様々な組織で、国籍、人種、文化を超えたチームをひたひたしてリーダーとなっていただけのもので確信しております。私たちの理念・活動内容に共感し、ともにこの活動を支えていただければ企業様を募集しております。

条件、特典など詳細についてはWEBサイトをご覧ください。  
<http://nflj.org/support/company/>

### 大学関係者の皆様へ

ポイント制導入のお願い



NFL発祥の米国では、多くの大学において、高校生のその後の活躍を見通す指標として、ペーパーテストの成績のみならず課外活動での実績が重視されています。そして、スポーツなど数多ある課外活動のなかでも、スピーチやディベートに

取り組んだ経験の優位性が認識されるにいたっています。ぜひ日本の大学でも、その教育効果の高さにご着目いただき、NFLポイントを入学期の評価項目としていただけますようお願い申し上げます。

ポイントの詳細についてはWEBサイトをご覧ください。  
<http://nflj.org/about/point/>

### 中学校・高等学校の校長先生・先生方へ

コーチ活動へのお願い

NFLJでは、スピーチ・ディベート活動が日本全国に広まるよう、各校の先生方との連携を重視しています。スピーチ・ディベートの授業の実施、課外活動へのサポートなど生徒のコーチとしてのご協力をお願いします。NFLJの運営スタッフを中心に、ディベートの実践会を定期的に開催しておりますので、ご関心をお持ちの方はぜひご見学ください。各種大会では、参加生徒とともにコーチの表彰も予定しています。

<http://nflj.org/events/list/>



### 高校生・大学生の皆様へ

有志スタッフの募集



NFLJでは私たちの理念に共感し、具体的な活動をともにしていただける高校生・大学生スタッフを募集しています。スピーチやディベートのスキルを磨く舞台として、あるいは、海外大学への入学につながる社会貢献活動の一環として、NFLJの活動に参画いただける方は、[highschool@nflj.org](mailto:highschool@nflj.org)までお問い合わせください。

【主な活動内容】

- 10名~20名の小規模のディベート大会の定期的な運営
- ブログやFacebook、Twitterなどのソーシャルメディア運営
- 大会演出のサポート など

詳細・お問い合わせはこちら

一般社団法人 National Forensic League Japan 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-23-18 渋谷ワールドイーストビル4階  
[TEL] 03-6427-1681 [FAX] 03-3406-2256 [MAIL] [info@nflj.org](mailto:info@nflj.org) [WEBサイト] <http://nflj.org>

※WEBサイトのメールフォームからお問い合わせいただけます。

SNSやブログもぜひご覧ください [Facebook](#) [NationalForensicLeagueJapan](#) [高校生スタッフによるブログ](#) <http://nflj.org/blog/>